

2023年度

ニチキッズ堺駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～3月30日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月15日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念『おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ』の意味を正しく理解できるよう職員間でその都度理念に則った保育について話す機会をもち、子どもの思いを汲み取り寄り添いながら、子ども主体の保育を行うようにした。
子どもの発達援助	子どもの姿を通して、個々の発達状況やその子らしさや思い、今育ちつつあることなど子どもの良さや可能性を捉え、適切な働きかけを職員間で共有し、同じ対応が出来るようにした。
保護者に対する支援	送迎時には、一日の活動の中での一人ひとりの姿を具体的に伝え、共に成長を喜び共感しあい信頼関係の構築に努めた。親子行事の後に、保護者交流を兼ねた懇談会を設けることにより悩み事や相談事も話し合え、保護者間の関係性構築にも繋げることができた。
保育を支える組織的基盤	社内・社外研修や園内研修に参加することで、視野が広まり新たな知識を取り入れながら、保育の質の向上に努めた。

総評
保育所職員としての更なる自覚を深め、明るい挨拶や態度を心がけ、園児や保護者への対応を丁寧に行うことができた。子どもの育ちについては、保育者間で情報共有をする機会を多くもち、園全体で子ども理解に努め職員間でチームとして関わってきた。報・連・相を徹底することによって連携の強化につながり保育の質の向上が図れた。また保育者として専門知識を学ぼうと意欲的に研修に参加し、視野を広げることができた。一人ひとりの学びを全職員の学びとし今後活かしていくことができるよう努め、更なる保育の質の向上を目指したい。